

みずほCustomer Desk Report 2018/09/18号(As of 2018/09/17)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	- AUD/USD
TKY 9:00AM	111.96	1.1624	130.35	1.3072	0.7143
SYD-NY High	112.12	1.1698	131.04	1.3165	0.7196
SYD-NY Low	111.76	1.1618	130.11	1.3066	0.7142
NY 5:00 PM	111.84	1.1684	130.67	1.3161	0.7179
NY DOW	26,062.12	▲ 92.55	日本2年債	-	-
NASDAQ	7,895.79	▲ 114.25	日本10年債	-	-
S&P	2,888.80	▲ 16.18	米国2年債	2.7800	▲ 0.40bp
日経平均	-	-	米国5年債	2.8922	▲ 1.20bp
TOPIX	-	-	米国10年債	2.9931	▲ 0.55bp
シカゴ日経先物	23,055.00	▲ 40.00	独10年債	0.4565	1.35bp
ロンドンFT	7,302.10	▲ 1.94	英10年債	1.5335	0.55bp
DAX	12,096.41	▲ 27.92	豪10年債	2.6165	1.90bp
ハンセン指数	26,932.85	▲ 353.56	USDJPY 1M Vol	6.38	▲ 0.03%
上海総合	2,651.79	▲ 29.85	USDJPY 3M Vol	7.15	▲ 0.05%
NY金	1,205.80	4.70	USDJPY 6M Vol	7.63	▲ 0.05%
WTI	68.91	▲ 0.08	USDJPY 1M 25RR	-0.70	Yen Call Over
CRB指数	189.64	▲ 0.84	EURJPY 3M Vol	8.65	▲ 0.17%
ドルインデックス	94.50	▲ 0.43	EURJPY 6M Vol	9.01	▲ 0.11%

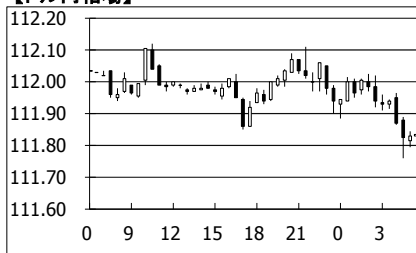
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月14日	11:00	中 小売売上高(前年比)	8月 9.0%	8.8%
	11:00	中 鉱工業生産(前年比)	8月 6.1%	6.1%
	21:30	米 小売売上高(前月比)	8月 0.1%	0.4%
	21:30	米 鉱工業生産(前月比)	8月 0.4%	0.4%
	23:00	米 ミシガン大消費者マインド	9月 100.8	96.6
9月17日	18:00	欧 CPI(前月比/前年比) 確報	8月 0.2%/2.0%	0.2%/2.0%
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	9月 19.0	23.0

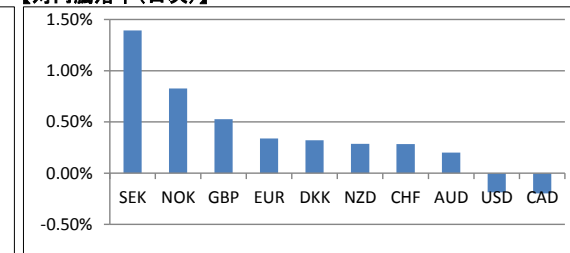
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月18日		特になし		

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.30-112.30	1.1620-1.1750	129.50-131.00

【マーケット・インプレッション】

東京休日となった昨日のドル/円相場は上値の重い推移となった。一時直近高値に迫る112.12まで上昇する局面も見られたが、米中貿易摩擦懸念の高まりが意識される中伸び悩み111円台後半まで下落。その後は112.00を挟んでの方向感に乏しい推移が続いたが、NY時間においては米中貿易摩擦懸念を背景に米株が軟調推移となると一時111.76まで下落する展開となった。本日のドル/円相場上値の重い推移を予想。引き続きマーケットのテーマは米中貿易摩擦。米国の中国に対する追加制裁についての正式発表待ちであり、既に相場に織り込まれつつある状況ではあると考えられるものの、さすがに積極的にリスクを取る動きは控えられ上値の重い推移となりそうだ。

アジア	アジア時間のドル円は111.96レベルでオープン。東京市場が祝日のため休場となり取引閑散となる中、ドル円は寄り付きからフローを受けて小幅上昇し、112.12をタッチ。朝方に報道された米国による対中関税賦課の報道と中国によるその報復、そして上海総合株価指数の軟調な動きを受けて、その後は上値追いの展開とはならず、じりじりと111円台後半まで下落。同レベルでもみ合い推移に終始した。結局111.98レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、111.98レベルでオープン。アジア時間の流れを引きつぎ狭いレンジで推移、終日の値幅は25銭程度と極めて限定的であった。112.04レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3088レベルでオープン。朝方英米首相から「英政府案以外での合意はない」とコメントしたことからポンドは小幅に売られたものの、その後は堅調に推移し1.3126まで買われた。
ニューヨーク	海外市場で112.12まで上昇したドル円は、米中貿易協議を前に、本日も2000億ドル相当の中国製品に10%の関税がかけられるとの懸念や、中国側が27.28日に行われる米国との協議を断る可能性があるとの報道が伝わったものの、これを受けた反応は限定的となる一方、ドル売りが優勢となったことから111.85まで下落し、112.04レベルでNYオープン。朝方は再び112.11まで戻す局面もあったものの、9月NY連銀製造業景気指数が予想を下回り、ドル売りが強まったことから111.89まで再び反落する。午後は、狭いレンジでの推移が暫く続くが、トランプ大統領がマーケットクローズ後に中国との貿易について発表を行うと伝わり、2000億ドルの関税が発表されるとの懸念から、軟調に推移していた株式市場が下落する展開に、円買いが優勢となり、ドル円は111.76まで下落する。終盤に掛けては、発表を控え様子見が続く、111.84レベルでクローズした。一方、ユーロ圏8月CPIが予想と一致したことから、この結果を受けたユーロドルの反応は限定的となるが、海外市場でドル売りが強まったことからユーロドルは下値を切り上げ、1.1665レベルでNYオープン。朝方はドル売りが継続し、1.1698まで戻す。午後は、トランプ大統領のマーケット引け後の発表を控え、ユーロ円が下落する展開にユーロドルは上値を抑えられるがドル売りが継続したことから底堅い動きが続く、1.1684レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 森谷・鶴田